



# BUSINESS REPORT

株主通信

第99期 年間

2015年4月1日～2016年3月31日



## 基本理念 | Our Mission

### 美と健康を通じ、快適な生活にお役立ちする

Aiming to Provide a Comfortable Lifestyle Supported by Health and Beauty

人は「美」に触れたとき、心に深い感動を覚え、満足感が広がっていきます。  
その、胸躍る感情と満ち足りた気持ちが心身に好影響を与え、健康へと結び付いていくという思いを、  
「美と健康を通じ」という言葉に込めました。

生活者の美意識を呼び起こすような価値あるモノをつくり、魅力ある商品・サービスとして、  
世界で一人でも多くの生活者に送り届けることが「快適な生活にお役立ちする」ことだと認識し、  
生活者満足の最大化を目指します。

株式会社マンドム

証券コード: 4917

TOP MESSAGE



株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの、熊本県を震源にした地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

当社では、大きな被害に見舞われている地域に対し行政と連携の上、当社製品を緊急支援物資としてお届けし、また、日本赤十字社を通じて義援金の寄付も行いました。

被災地におかれましては、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

PT Mandom Indonesia Tbk工場火災事故について

昨年7月10日に、当社のインドネシア連結子会社であるPT Mandom Indonesia Tbkのエアゾール生産エリアにおいて、ガス爆発による火災事故が発生し、現地社員に多数の死傷者が出る事態となりました。

株主の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。当社では、被害に遭われた方々に対するケアを今後も継続的に実施してまいります。また、これを重く受け止め、社外の学識経験者および専門家5名により構成される「事故調査対策委員会」を設置し、原因究明と再発防止策をまとめました。今後も本事故を風化させることなく、社会的信頼を回復するために、この再発防止策の徹底に全力を傾注してまいります。

第11次中期3ヶ年経営計画の2年目を振り返って

第11次中期3ヶ年経営計画(MP-11)は、「アジアにおける成長加速と新規事業開拓の推進のための

中期3ヶ年経営計画」と位置付け、「収益性の向上」および「安定的かつ高水準な株主還元の継続」を実施しつつ、「主力市場における事業展開強化による競争優位性の確立、新たな市場・事業分野の開拓による売上規模の拡大」を目指しています。第99期(2016年3月期)は、MP-11の2年目の年となり、戦略テーマである「コア事業である男性グルーミング事業の安定成長」、「女性コスメティック事業の展開強化」、「アジアを成長エンジンとした海外事業の継続強化」に注力して事業を推進してまいりました。

第99期の連結売上高はインドネシアにおける火災事故の影響はあったものの日本国内外における女性化粧品分野が好調に推移したことで、6期連続で過去最高売上高を更新しました。利益面においては、インドネシアの火災事故による減収や海外における積極的なマーケティング投資などにより営業利益、経常利益は減益となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益においては、インドネシア子会社における固定資産売却益の計上があったことから、増益となりました。

MP-11最終年度

MP-11の最終年度となる第100期(2017年3月期)は計画達成に向けて、全社一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

M. Nishimura

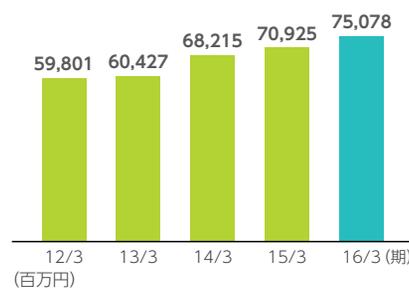
代表取締役 社長執行役員  
にしむら もとのぶ  
西村 元延

第99期決算ハイライト

Financial Highlight

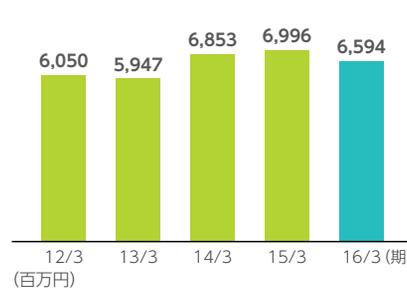
売上高  
750億78百万円

前期比  
5.9%増



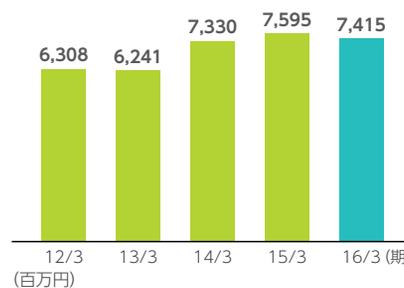
営業利益  
65億94百万円

前期比  
5.7%減



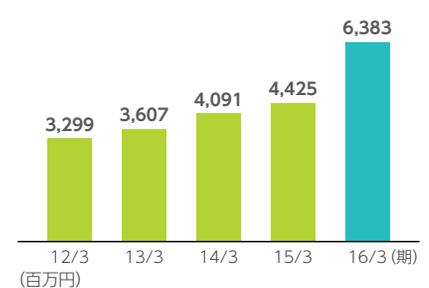
経常利益  
74億15百万円

前期比  
2.4%減



親会社株主に帰属する  
当期純利益  
63億83百万円

前期比  
44.2%増



連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	前期末 (2015年3月31日)	当期末 (2016年3月31日)
流動資産	48,067	51,456
固定資産	27,913	28,364
資産合計	75,980	79,821
流動負債	11,794	10,364
固定負債	3,206	3,601
負債合計	15,000	13,965
純資産合計	60,980	65,856
負債純資産合計	75,980	79,821

Point

資産(38億41百万円増加)

主に「現金及び預金」と「有価証券」が増加したことにより38億41百万円の増加となりました。

負債(10億34百万円減少)

主に「短期借入金」などが減少したことにより10億34百万円の減少となりました。

純資産(48億75百万円増加)

主に「利益剰余金」が増加したことにより48億75百万円の増加となりました。

## トピックス

Topics

### 「ルシード」、ミドル男性向け市場を強化中

2015年8月のニオイケアシリーズやスキンケアシリーズにつづき、2月にヘアスタイリングシリーズを商品リニューアルし、TVCMやポスターに田辺誠一さんを継続起用。着実に売上を拡大しています。また、ブランドのターゲットであるミドル男性に対して、ライフスタイル情報サイト「40's Life」のオープンや、ミドル男性の身だしなみ意識調査をまとめた「40代ミドル男性白書」をブランドサイトで掲載するなど、ミドル男性に寄り添った情報発信をすることでお役立ちしています。



### 「ギャツビー スタイリンググリース」海外各国へ水平展開中

2015年8月日本で発売した「ギャツビー スタイリンググリース」が、9月にはシンガポール、10月には台湾、韓国とアジアでの販売がスタート。各国で登場感をアピールする広告投下と、それに連動させた店頭展開を積極的に実施しています。ツヤ感のあるヘアスタイルの流行を受けて初期動向も好調。今後の実績拡大が期待されます。



### インバウンド需要に対応した生産体制を確立

2014年10月の免税制度の変更以来、好調に推移している「バリアリペア シートマスク」や「ビフェスタ うる落ち水クレンジングシート」。福岡工場に新たに生産設備を導入し、量産体制をスタート。急激な需要拡大への対応を図っています。



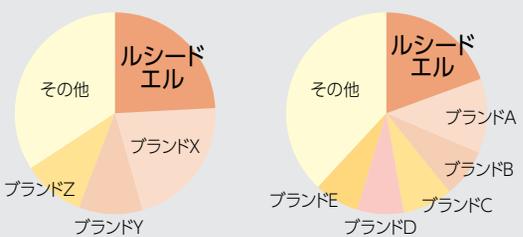
### 海外で12番目の現地法人 Mandom Vietnam Company Limited、営業活動スタート

2015年1月にベトナムのホーチミンに設立したMandom Vietnam Company Limitedは、9月に商品の販売ライセンスを取得し、輸入テストや通関を終えて11月より商品出荷を開始しました。急激に成長中のインドシナエリアにおいて、高い市場ポテンシャルを誇るベトナム市場に対し、今後も積極的にマーケティングアプローチを行います。

### 「ルシードエル」、着実に売上拡大

2015年2月の発売以来、好調に推移するアルガンオイル配合の「ルシードエル オイルトリートメント」シリーズ。2015年8月には、より贅沢にうるおいを与える「#EXヘアオイル リッチモイスチャー」を追加し、更にラインアップが充実。

■女性用ヘアワックスの市場シェア ■女性用ヘアクリーム/ミルクの市場シェア

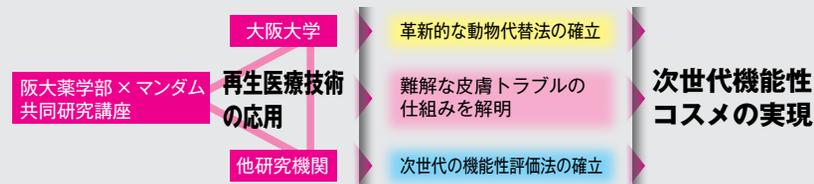


2015年4月-2016年3月 マンダム調べ

「ルシードエル」は日本国内の“女性用ヘアワックス”、“女性用ヘアクリーム/ミルク”カテゴリーでシェアNo.1となっています。

### 大阪大学薬学研究科に「先端化粧品科学共同研究講座」設置

再生医療に用いられる幹細胞関連技術などを化粧品の研究へ応用するために、大阪大学薬学研究科と共同研究に取り組んでいます。ヒト皮膚や皮膚付属器官の幹細胞から、組織・器官を再生する技術を確立・応用・発展させ、再生された組織・器官を用いて、化粧品分野での機能性評価の技術確立や、機能性化粧品・医薬部外品などの有用成分の探索と製品開発への応用を目指しています。



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

#### 所在地別売上高・営業利益の概況

##### 日本

売上高 **441億4百万円** (前期比 5.9%増)  
営業利益 **47億4百万円** (前期比 4.9%増)

売上高は、「ギャツビー」の夏シーズン品が伸び悩んだものの、「ルシード」や「ビフェスタ」「ルシードエル」が好調に推移したことにより増収となりました。

営業利益は、マーケティング費用の積極的な投下があったものの増収効果により増益となりました。

##### インドネシア

売上高 **181億64百万円** (前期比 5.8%増)  
営業利益 **8億80百万円** (前期比 14.4%減)

売上高は、火災事故の影響はあったものの早期に生産体制が回復でき、インドネシア国内において「ギャツビー」が好調に推移したことに加え、円安による円換算額の増加により増収となりました。

営業利益は、火災事故の影響による売上高の減少や原価率の上昇等により減益となりました。

##### 海外その他

売上高 **128億9百万円** (前期比 5.7%増)  
営業利益 **10億8百万円** (前期比 32.0%減)

売上高は、一部の地域を除きおおむね好調に推移し、「ビフェスタ」が好調に推移したことに加え、円安による円換算額の増加により増収となりました。

営業利益は、積極的なマーケティング費用の投下により減益となりました。

#### 事業別売上高の概況

##### 男性グルーミング事業



国内の夏シーズン品が伸び悩んだものの、「ルシード」とインドネシアにおける「ギャツビー」が好調に推移しました。  
主なブランド：ギャツビー、ルシード

**482億56百万円**

前期比 **2.8%増**

##### 女性コスメティック事業



国内、海外共に「ビフェスタ」が好調に推移しました。  
主なブランド：ピクシー、ビフェスタ

**108億84百万円**

前期比 **29.9%増**

##### 女性コスメタリー事業



国内の「ルシードエル」が好調に推移しました。  
主なブランド：ルシードエル、ピュセル

**81億67百万円**

前期比 **4.8%増**



# 生活者のニーズ・ウォンツをつかむマンダムの「お役立ち」考働

## 水クレンジング「ビフェスタ」 アジア各国へお役立ち拡大中

### 忙しい現代女性のウォンツをつかんだ「うる落ち水クレンジングシリーズ」が累計2,000万本出荷のヒット商品に

「ビフェスタ うる落ち水クレンジングシリーズ」は、これ一本でメイク汚れや古くなった角質によるくすみを落とすクレンジングの役割から、化粧水の役目を果たすオールインワンクレンジングローションです。その新規性により、2011年8月の発売以来、忙しい現代女性から圧倒的な支持を集め、国内はもとよりアジア各国においても順調に売上げを伸ばしています。国内におけるシリーズ累計出荷本数は、2,000万本(2011年8月～2016年2月)を突破することができました。今後も多様化する生活者のクレンジングウォンツに対応して、新シリーズの発売、既存品の鮮度アップやアイテム追加等を実施し、さらなる実績拡大を目指していきます。



### タイに続き韓国、中国、台湾で。試用体験づくりと口コミでの評判によって、続々とファンを拡大中

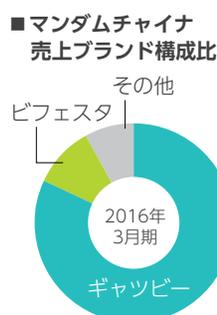
**韓国** 2015年春、ブランドアンバサダーとして人気女優のコ・アソンさんを起用して、韓国のマンダム現地法人初のTVCMを制作。ブランドの認知拡大、使用率拡大を目的として店頭と連動した宣伝・販促を実施しました。2015年秋もコ・アソンさんを継続起用し、CM第2弾を放映。



韓国映画界の次世代の新星として活躍が期待されるコ・アソンさん

**中国** 2013年末より、ビフェスタシリーズを日本から輸入。昨今の輸入ブームにのって、アイメイクアップリムーバーとクレンジングローションを中心に好調なスタートを切りました。

2015年夏からは、Eコマースで展開して大きく成長。9月より、女性に人気の口コミサイトとEコマースを合体させたアプリでの展開をはじめ、コンスタントな売上げにつながっています。今後も女性スキンケアカテゴリーへの挑戦を継続し、実績拡大を目指します。



**台湾** 2015年クリスマスから年始にかけての週末、ショッピングモールにビフェスタブースを出展したほか、購入意向や認知の拡大に向けた施策として、パワーブロガーを招いた座談会や、雑誌・ネット広告、バスラッピングなどを実施。これらによりfacebookのファン数は1.75倍に増加しました。



バスラッピング広告

### Information

#### 第1回 株主さま工場見学会を実施しました

当社をより深くご理解いただくために、2015年10月5日と6日の合計2日間にわたって、「株主さま工場見学会」を実施いたしました。100株以上の株式をご所有(3月31日現在)の株主さまに案内をお送りし、多数のご応募をいただきました。厳正なる抽選の結果、当選された方には、当日「ペーパーライン」、「水物ライン」、「エアゾールライン」といった、当社の主力商品の生産ラインを見学していただきました。見学会終了後のアンケートでは、80%以上の方が「満足した」と回答。また「生産設備が効率的」、「工場内が整理整頓されていてきれい」などのコメントも頂戴しました。ご参加いただいた株主さまにはより一層、当社に対してご理解いただくことができました。今後も「株主さま工場見学会」を継続開催いたしますので、奮ってご応募下さい。



### 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月開催  
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当金 毎年3月31日  
 中間配当金 毎年9月30日  
 [そのほか、必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日]

単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 および特別口座 三井住友信託銀行株式会社  
 の口座管理機関  
 郵便物送付先 〒168-0063  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話照会先 ☎0120-782-031

※詳細は、当社サイトをご確認下さい  
 URL <http://www.mandom.co.jp/ir/src/stockinfo.html>

### 会社概要

[2016年3月31日現在]

社名 株式会社マンダム  
 本社 大阪市中央区十二軒町5番12号  
 設立 1927年12月23日  
 資本金 11,394,817,459円  
 従業員 537名 (連結2,663名)  
 事業内容 化粧品、香水の製造および販売、  
 医薬部外品の製造および販売

### 株式会社マンダム 広報IR室

〒540-8530 大阪市中央区十二軒町5番12号  
 TEL:06-6767-5020 FAX:06-6767-5044  
 株式会社マンダムはISO14001(福岡工場)を認証取得しています。

### IRメール配信サービス

当社のIR・会社情報をタイムリーにお知らせしています。  
 (会員登録はこちらから)

マンダム IR 情報 検索



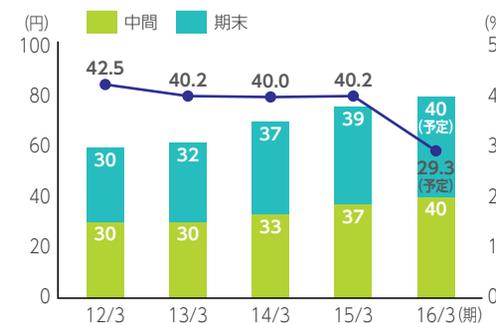
### 株主還元の基本方針

#### □ 配当に関して

#### 特別な要素を除いた連結ベースでの配当性向40%以上の継続

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要政策として位置づけ、中長期的な事業拡大、新規事業開拓および企業リスクのための内部留保に配慮しつつ、配当金による株主還元を優先的に実施することを基本方針としております。配当金に関する数値目標としましては、特別な要素を除いた連結ベースでの「配当性向40%以上」としております。

#### 配当金と配当性向の推移



#### □ 株主優待について

#### 5,000円相当の当社商品詰め合わせをお届け

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の一環として、株主優待を行っております。100株以上の株式をご所有(3月31日現在)の皆さまに5,000円相当の当社商品詰め合わせを、6月初旬にお届けしております。当社をより身近に感じていただくために、優待品は当社のお奨めする商品を、新製品を中心に選定しております。

#### 2016年実施株主優待詰め合わせ

